

令和3年度（2021年度）第2回 熊本市社会教育委員会
会議録

【開催日時】 令和4年（2022年）3月29日（火）14:00～16:00

【開催場所】 熊本市教育センター 第2研修室

【出席者】

■ 社会教育委員

奥村 浩介 委員
加藤 貴司 委員
小澄 直 委員
新道 欣也 委員
田中 洋子 委員
村山 淳子 委員
石井 憲子 委員
高梨 沙織 委員
八幡 彩子 委員

■ 事務局

○生涯学習課

- ・ 青山課長
- ・ 松本主幹兼主査
- ・ 川口社会教育主事
- ・ 福田参事

（オンライン参加）

- | | |
|-------------|--------|
| ・ 文化財課長 | 北野 伊織 |
| ・ 教育政策課主幹 | 福岡 哲 |
| ・ 青少年教育課副課長 | 井上 雅弘 |
| ・ 熊本市立図書館長 | 大谷 修一郎 |
| ・ 熊本博物館長 | 田端 文一 |
| ・ 指導課主任指導主事 | 猪原 英滋 |
| ・ 子ども政策課長 | 光安 一美 |
| ・ スポーツ振興課長 | 村上 和博 |

<会議資料>

・ 会議資料

【議事】 学校・家庭・地域連携協力推進事業等の実施について

【報告】 熊本市生涯学習庁内関係課連絡会議について

・ 参考資料（関係法令）

発言者	発言要旨
	【開会】
市民生活部長	【あいさつ】
【報告】	学校・家庭・地域連携協力推進事業等の実施について 事業説明
議長	<p>今、ご説明がありました学校、家庭、地域の連携協力推進事業等の実施について、皆様からご意見ご質問をお受けしたいと思います。</p> <p>ご質問等については、時間を節約させていただく都合上、いくつかまとめて関係課にお答え頂きたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>インターネット等を使って実践をされてこられたことが、本当に素晴らしいと思っております。コロナだから出来ないではなく、何ができるかということを生懸命各課で考えられてこられた結果で、昨年度よりもぐんと進んだ1年だったのだと実感しております。本当に大変だと思いますけれども、このまま子どもたちのため、学校のため、地域のためにご尽力いただきますよう、どうぞ宜しくお願い致します。</p>
委員	<p>学びたいむサポーターについて。利用者の属性を教えてください。</p> <p>また、「外部サポーターを活用せず、教職員が朝自習、特定曜日の6時間目、夏期休業期間等を活用して実施する学校が徐々に増えている。」と記載してありますが、先生方の負担が増え無ければと感じました。</p>
議長	<p>私もこの学びたいむサポーターについて質問があります。</p> <p>熊本大学にはかなりの留学生の方がいて、留学生の子どもたちが熊本市の小中学校で学んでいます。その子どもたちへの言葉、学習面、スポーツ等の熊本市の支援はどのようなものがありますか。今、熊本市は国際的にいろんな地域から招き入れる施策に力を入れておられると聞いていますので、教育の面での支援を知りたいです。これは熊本市の魅力に、教育の分野があるということを対外的にアピールできるものにもなるかと思えます。</p>
委員	<p>「家庭教育支援員の養成を行い」というのがありますが、具体的な進捗を教えてください。</p> <p>それから、スポーツと学習面で色んな実施をされていますが、学習の放課後教室にしても、スポーツ教室にしても、学校数が少ないですね。学校や地域への周知方法を教えてください。広く広報せず、一部で実施しているような印象があります。</p> <p>それから、熊本市の小中学校校長会長さんの言葉に、「先生は頑張っているが、コロナ対応等で手が足りなく、困っている。保護者の質問も増えて校長、教頭だけでは対応しきれない。」というのがありました。やはり家庭教育の在り方にしっかり力を入れる必要がある。学校と家庭とで協</p>

発言者	発言要旨
	力し、共有して進めない子どもの幸せを願えないかと思います。
議長	<p>ありがとうございます。先ほどのご質問にも重なるところがあったかと思いますが、コロナ対応の中でどういう状況になっているのかと。特に学校と家庭との連携というようなことについての問い合わせだと思しますので、後ほど回答をお願いします。</p>
委員	<p>私も社会教育支援総合推進事業に関してです。私は、小学校のPTAに6年間関わって来まして、学校と保護者側の揉め事が多いですが、問題点が子どものことを考えての問題が減ってきて、保護者自身の問題のような子どもが介在しない揉め事が増えているように感じ、苦勞してきました。そこで、親の在り方等について何か支援できる活動がもっと広がればいいと思いました。</p> <p>あと、もう一つ学びたいむについてなんですが、先生方の負担がかからないようなになればと思います。自分の子どもがお世話になったこともあり、先生方の努力を近くで見てきた事もあり、本当に感謝をしています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。保護者向けのいろんな学習の機会、研修の機会ということにもなるかもしれないですね。</p> <p>それでは、質問、ご意見も上がりましたので、関係各課からご回答をいただいてもよろしいでしょうか？学びたいむに関する事、あるいは国際化に対する対応、家庭と学校との連携を視野に入れた学校の教育支援についてお願いします。</p>
指導課	<p>教育委員会指導課です。学びたいむサポーターについて答えます。まず学びたいむサポーターに従事している方は、地域の方や大学生です。大学としては熊本大学、ルーテル学院大学、尚絅大学等の学生にご協力いただいています。</p> <p>つぎに、先生方の負担についてです。コロナ禍ということで学校によっては外部の学びたいむサポーターを活用せず、学校の先生方が行っているという話を聞きました。各学校では放課後の時間を確保するのが難しいため、朝自習の時間を活用し、勤務時間の中で実施する学校もあります。</p> <p>最後に国際化についてです。日本語指導については、黒髪小学校ならびに桜山中学校をセンター校として日本語指導を実施しています。日本語指導担当者と日本語指導協力員を活用しています。令和3年5月10日現在では、小中学生50人あまりの児童生徒の指導をしています。出身国も中国からパキスタン、エジプト、韓国等、さまざまです。</p>
青少年教育課	<p>青少年教育課です。当課の家庭教育支援の取組についてお答えします。家庭教育に関する学習会に講師を派遣する「家庭教育セミナー」と、家</p>

発言者	発言要旨
	<p>庭教育地域リーダーステップアップ研修を実施しています。新規の家庭教育地域リーダーの養成につきましては平成31年度から休止をし、これまでの修了者へのスキルアップに取り組んでいます。コロナ禍でも研修に取り組めるよう、YouTube 動画配信という形で実施しています。</p> <p>家庭の重要性は十分認識しており、本年度に家庭教育セミナーの動画を7本作成し、熊本市教育センターのユーチューブチャンネルに公開を予定しています。コロナ禍で集まらない状況であっても、いつでも保護者様が家庭教育セミナーの動画を見て勉強できる環境を作っていきたいと考えております。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習課です。保護者の方の学習の機会ということで、家庭教育学級をやっていますが、学級数は伸び悩んでいます。上のかたの負担が大きいということ。学習内容等についてノウハウがないというところもありますので、そういった点について相談に乗りながら、進めていきたいと思えます。</p> <p>また、開設の無い学校に、できるだけ開設してもらいたいということで、学校も含めた周知活動を工夫して進めていく必要があると感じています。実際の家庭教育学級の実績を参考にしてもらいながら開設していない学校に働きかけていきたいと思えます。</p>
議長	<p>はい、ありがとうございます。学校と地域との連携、あるいは家庭との連携ということに関しましては、今学校でもさまざまところで取り組んでいらっしゃいますので、その点については後ほど奥村委員からお話をお聞きできるかと思えます。国際化の話について、黒髪小学校、桜山中学校だけにとどまらず、広げていくかということも、検討頂けると非常にありがたいと思えます。</p> <p>それから、学びたいむの件ですけれども、利用している子どもたちについてではなく、先ほどのお答えでよろしかったですか？</p>
委員	はい
議長	<p>先ほどの説明で学びたいむが広く一般的に普及していると、私は説明を受け止めましたが、そのあたりの補足があれば後ほどお願いします。それではスポーツ教室の開校数についてお願いします。</p>
スポーツ振興課	<p>スポーツ振興課でございます。学校数の取り扱いについて回答します。この事業は、平成22年から始まった国庫補助を受けながらの事業です。1年度に基本的に3校程度を取り組んで、終了後は自主的にその学校が取り組んでいくようにしていくというもので、現在も継続しているところが4校です。</p> <p>継続には総合型地域スポーツクラブ、校区の体育協会等とのタイアップが必要となりますので、クラブを運営するにはマンパワーが必要になります。総合型地域スポーツクラブ等とのマッチングを行ないながら事</p>

発言者	発言要旨
	<p>業を推進していくというものですので、一律に実施ができません。</p> <p>できれば広げていきたいところですが、地域スポーツクラブについては、現在市内全部で 22 クラブ、それから校区の体育協会はほぼ全校区に組織されていますが、規模に大小があり、活動に対応するだけのマンパワーを確保できない団体もあり、予算の面、人的な面で苦慮する状況であります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。次の意見に進みます。</p>
委員	<p>まずこの環境下で委員の皆さんが感想を申し上げたように、様々な取組をされていることに驚きました。</p> <p>驚いたということは、私はあまり知らなかったということなのですが、中でも熊本博物館が子ども達向けに、いろんなワークショップをされている事は本当に素晴らしいことだと感じました。</p> <p>実は令和 2 年の博物館の報告書をいただきまして、博物館、美術館が展示だけではなく、子ども達のためいろいろな取組をされており、本当に素晴らしいと思います。</p> <p>それと先ほど話がありましたけど、実際どれだけの効果があるのかということに関して、数値が出ていますが、学校、家庭、地域と連携するというので、子どもたちや地域を巻き込んで伝えるというキーパーソンが足りてないんじゃないかならうかと思います。</p> <p>その役割を担うのが地域の方だと思います。地域の方をいかにピックアップできるかということも、課題だと思います。</p> <p>地域との連携としてまちづくりセンターもあります。私どもの地域では、まちづくりセンターの職員がどんどん地域に出てきてくれて連携がとられています、十分ではない。市が子どもたちのためにいろいろなことを企画しても、それを伝えることが不足しており、子どもたちに行き渡っていないという印象がある。その点についての取組ができればと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。私も同じような事を感じる事があります。</p> <p>今年 1 月に熊本市教育センターが主催した education ウィーク 2021 のプログラムでは、学校教育だけではなく、公民館、博物館、家庭教育、研究機関の方の取組が 1 つのプログラムにまとめられていました。これがまさに生涯学習だと感じました。行政縦割りではなくて、そういうプログラムを熊本市の方で盛り込まれていたのも、本当に素晴らしい企画だと思いました。ぜひこういう取組をますます広げていただきたいなと思いました。今後キーパーソンの活用を進めていただきたいと思います。次へ進みます。</p>
委員	<p>まず全体的な意見から話します。説明があった取組を保護者や地域の方へ十分に伝わっていないところがある。より広く周知できるような体</p>

発言者	発言要旨
	<p>制を作っていたきたい。</p> <p>次に、年度毎の実績についてですが、もう少し深く掘り下げて検証して行く必要があるかと思えます。例えばアンケート取る等して出てくるいろんな意見をこの先の事業に生かして行くようにブラッシュアップしていただくことが必要だと思えます。</p> <p>次に個別ですが、学びたいむに関して、教職員確保が運営上の課題とのことですが、感染拡大等で外部サポーターが活用しにくいという話がありました。そこをオンラインで外部サポーターを利用することで、先生方の負担も減らせるし、限られた外部サポーターも有効に活用できるのではないかと感じました。いろいろな工夫を進めてもらえればと思えます。</p> <p>次に子ども、スポーツ教室についてなんです、各学校の運動場や体育館で行われていると言う事でした。この学校施設は環境が整ってない部分もあるかと思えますので改善を進めてもらえればと思えます。</p> <p>それから家庭教育支援活動についてです。保育園の運営をしていて気づいたことですが、若いお母さんや働くお母さんには乳幼児保育教育についての知識や経験も少ないことが多いと思えますので、そういった方が参加しやすい体制をとっていただき、幅広い支援をお願いしたいと思います。</p> <p>また、PTAの親と学校のトラブルと言うこともありまして、幼児教育の段階から、保護者への支援、保護者の教育っていうのも重要になっていくのではないかと感じたところでございます。以上です。</p>
委員	<p>参加者数や学校数が減るのは致し方ないことではあるが、下げ幅が小さく、頑張ってもらっていると感じる。</p> <p>放課後スポーツ教室はスポーツ振興長の発言と異なり、平成20年から続いていたかと思いました。私の地域で平成25、26年頃に小学校で引き受けたことがあり、当時は5、6校が一緒に行っていたので、近いうちに市内にいきわたると思ったのですが、人材不足などの問題があり、なかなか進まないことが分かりました。</p> <p>現在は活動にいろんな制限があり、不満がたまっていると思う。川上校区ではわくわくウォークという活動をしているが、コロナ後に再開したところ参加者が増加した。これは住民の人たちも交流とかこういった活動を待ち望んでいることだと思いますし、子どもたちも同じですので、コロナの収束に合わせて地域の活動を活性化したい。</p> <p>活性化にあたっては地域、学校、行政、総合スポーツの担当等と一緒に取り組むことで、子どもたちの期待に応えていきたい。</p> <p>次に博物館の取組も今は1/2の参加ぐらいで抑えながらやってらっしゃいますが、コロナ以前は倍ぐらいの参加者があったんだろうと思いま</p>

発言者	発言要旨
	<p>す。これにもやっぱり参加したくてもできない子どもたちがいるのだらうと思います。コロナが収まりましたら、そういった子ども達が集まってくるような取組をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>まず、学びたいむサポーターの件ですが、本校でも週に1回程度、小学3年生以上の希望者に放課後、45分程度やっています。教職大学院の学生さんが手伝っており大変助かっています。前任校の桜山中学校など大学から近い所は学生さんが集まりやすいですが、離れると人が集まりにくいということがあります。教職員のみでの運営が増える要因として、時間割を急に変更した場合等に対応が煩雑ということなどもあるかと思っています。また、児童には一人一台iPadがあり、「ドリルパーク」というアプリを学びたいむで活用しています。それを使えるサポーターであることも望まれます。学力テストの結果からわかる苦手な箇所を振り返って勉強できるという有効な活用もできますので、このアプリの活用は今後もっと広がると思います。</p> <p>それから国外からの子どもに対する学習支援は、黒髪小学校と桜山中学校を拠点校として全市的に行われていますが、限られた数の先生たちが該当校に移動しながら活動していますので、今後支援を要する子どもたちが増えてくると、一人当たり割ける時間が厳しくなっていくと思います。そういう人的な保証というの、これから大事になってくるのかもしれない。</p> <p>それから学校側と保護者との連携、家庭との連携という部分で、色々なトラブルが増えて来たという話もありますけども、学校、地域ごとに課題はそれぞれ違うと思います。何が課題なのかというのをタイムリーに捉えて学びに仕立てていく。それが元々の家庭教育学級の趣旨であり、社教主事の業務であります。</p> <p>私も公民館等で9年間社教主事として勤務し、家庭教育学級にも取り組んできましたが、年間10回程度の学習プログラムを作るときに、参加者が学びたいことを出し合い、プログラム化していきがありました。そういったときに社教主事がサポートしていました。各公民館には社教主事がいますので、キーパーソンとして活用していただくと有効かと思っています。</p> <p>最後に、この委員会をお願いしたいことがあります。</p> <p>部活動の地域への移行についてです。</p> <p>小学校では地域への移行が進んでおり、私がいる東区は本校を含め近隣校でも来年度は移行してしまうのですが、中学校ではそううまく移行できません。中学校には小学校のような受け皿がないからです。今後は、おそらく中学校でも部活動の地域への移行が進んでいくかと思いますが、ぜひとも総合型地域スポーツクラブ等を拡充し、子ども達に多様</p>

発言者	発言要旨
	<p>なスポーツをする場を地域に増やしていただきたい。</p> <p>人的、経済的的な部分で、行政的なバックアップが必要だと思いますが、これは教職員の働き方改革の面からもしっかり推進していただきたい。</p> <p>またそういった部活動の受け皿と学校教育がうまくリンクして行くためには、関係性を高める意味で組織の在り方についても検討していただき、推進していただければと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。学校の視点からどのような連携が行われており、今後どういうふうに向かうべきかというご意見を頂きました。事務局の方から補足等がありますか。</p>
スポーツ振興課	<p>アンケート等、事業後の検証についての意見があったと思います。スポーツ振興課では参加いただいた子ども達、保護者を対象にしてアンケートを取っており、集約はしています。概ね、「参加してよかった。またやりたい」や「参加させて良かった。」等、好評をいただいておりますが、改善要望もありまして、「参加料として徴収する保険料 800 円を下げしてほしい。」「もっと回数を増やしてほしい」等の意見もあるので、検証し、改善したい。</p> <p>次に小学校の施設に関する問題ですが、放課後子どもスポーツ教室に関しましては、遊び感覚でスポーツに親しめるようなメニューということで、子ども達からの要望であったり、学校の希望であったりを取り入れて進めるというようなコンセプトを持っています。より専門的にスポーツをしたい子どもについては専門のクラブを利用していただき、クラブには市の公設体育館等を優先して予約できるようにする等の支援をしています。</p> <p>次に「放課後スポーツ教室が平成 20 年度から始まったと思っていた。」との発言がありましたが、平成 20 年度はモデル事業としての開始時で、正式な開始が平成 22 年度からということです。この件に関しましては、先ほどのアンケート調査等も踏まえて工夫して行きながら取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>最後に受け皿としての総合型スポーツクラブは現状で 22 クラブあり、画図校区に立ち上げの動きがあり、支援をしています。</p> <p>総合型スポーツクラブの育成に関しましては、立ち上げに関して、支援に向けたサポートをしていく制度もあります。ただ、校区における組織の問題等があります。例えば市内中心部では複式学級化が進んでいる学校もあり、地域の方々の担い手が少ないというような事情もあり、なかなか総合型スポーツクラブが育たないという環境もあります。</p> <p>そういったところを踏まえながら、なるべくその地域、スポーツのサポートができるような組織づくりにも取り組んでいきたいと考えており</p>

発言者	発言要旨
	ます。以上です。
議長	<p>ありがとうございます。貴重な情報をご提供いただきまして、感謝申し上げます。また、委員の皆様から貴重なご意見を出していただきました。今後の事業に反映していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>議事については以上です。</p>